



馬英九前總統

【台北】矢板明夫／台湾
の最大野党、中国国民党に所属する馬英九前總統が27日、「先祖を供養するため」として中国を訪問した。総統経験者の訪中は1

949年の中台分断後で初めて。馬氏は出発前、記者団に「両岸の関係改善を期待している」と語った。今思の表れとなる。来年1月に控える台湾の総統選に影響を与える可能性もある。

（台北）矢板明夫／台湾
から「馬氏は中国に利用されている」「行くべきではない」と批判する声が大手紙記者によれば、台湾の蔡英文政権が近年、自由化の実現すれば、中国が国民党との関係を重視するとの意図で、两岸の関係改善を期すとの断交直後というタイミングでもあるため、「中

た直後。それだけに台湾の外交関係が解消され

た。総統経験者の訪中は1

新指導部との会談焦点

台湾・馬前總統が訪中

た馬氏の訪問先の中には、「南京大虐殺記念館」や重慶の抗日戦争を記念する施設、日中戦争中に戦死した將軍、張自忠の墓地などが含まれている。台湾の政治評論家、黃濬孝氏は「一週間余りの滞在期間でこれだけの反日施設を回るのは異常だ。日台分断を狙う中國側が日程を決めた可能性が高い」と分析している。

中台関係に詳しい台湾の大手紙記者によれば、台湾の蔡英文政権が近年、自由化の実現すれば、中国が国民党との関係を重視するとの意図で、两岸の関係改善を期すとの断交直後というタイミングでもあるため、「中

國の圧力に屈したという印象

がある」と分析している。

馬氏の訪中はホンジュラスとの断交直後といつても、訪台した東欧チエコの

開幕式には原田義昭元環

境相やフジサンケイグループの日枝久代表、鄭文燦行

アの蔡英文総統は27日、台北市内で「安倍晋三記念写真展」（台湾の民間シンクタ

ー）（台湾の民間シンクタ

ー）（台湾の民間シンク